

ほうさやまかずお

市政報告

発行:富山市議会議員 自由民主党 柞山 数男

富山市婦中町新屋501 Tel (FAX)465-1212

E-mail:kazuo-co@kami-nei.ne.jp

http://www.housayama-kazuo.com/

令和元年
6月定例会

一般会計補正予算

9億1,794万5千円 可決

特別会計では、補正予算額1.210万8千円 可決

令和元年6月定例会は、6月13日から7月3日までの21日間にわたって行われました。

一般会計補正予算では、下赤江新庄線改良工事等2億1,105万3千円をはじめ、馬渡川改修工事等1億1,100万円、青島小倉線消雪井戸さく井工事1,550万円、朝日小学校のプール改築工事5,630万9千円（2カ年継続事業 総額1億4,077万4千円）、更に八尾B&G

海洋センタープールの改修費用5,038万円、エゴマ栽培における株間除草ロボットの開発に要する経費300万円、昨年度、篤志家の方よりご寄付のあった3億円を、栗原路子記念熱帯鳥類保全事業基金に1億円、呉羽丘陵フットパス連絡橋整備基金に2億円とそれぞれの基金に積み立てを行うこととしました。それらを含め6月補正額を9億1,794万5千円とし、令和元年度一般会計予算総額を1,651億5,669万5千円としました。

また、特別会計では、公設地方卸売市場特別会計において、公設地方卸売市場事業で、市場の再整備をするための経費として1,210万8千円を追加し、令和元年度の特別会計予算総額を1,311億179万5千円としました。



改築予定の朝日小学校プール

ご挨拶

5月1日から、新たな時代「令和」がスタートしました。新元号は「大化」(645年)以来、248番目となります。中国で発祥した元号は、朝鮮、ベトナムにも存在していましたが、いずれも廃止され、今は日本でのみ使用されています。これは、「世界に誇るべき文化」と言っているのではないかと思います。

令和は、皆様ご承知のとおり、万葉集から引用されたものです。この令和には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められております。万葉集は、日本最古の歌集であるとともに、天皇や皇族、貴族だけでなく防人や農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌が収められ、我が国の豊かな国民文化と長い伝統を象徴する国書であります。厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたいとの願いが込められているとのことです。英訳すると「Beautiful Harmony(美しい調和)」です。私たち一人ひとりが自分を大切にして、お互いを大切に思うからこそ美しい調和が生まれると思います。



皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

6月定例会一般質問

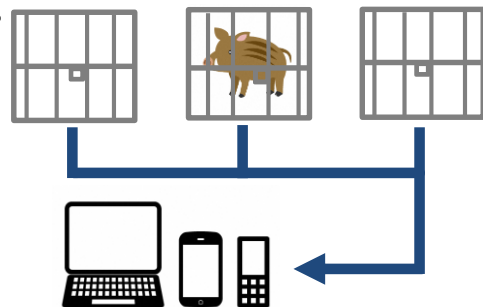


作山 数男 議員
(自由民主党)

スマートシティについて

多方面での活用が可能である。

問 ネットワーク網をどのように活用していくのか。
答 本市のネットワークは、定点観測や位置情報などの小規模なデータを一長期間継続するような用途に適しているLoRaWANを採用している。ネットワークの特性を踏まえ、例えば、用水路の水位やイノシシなどの害獣捕獲用罠の遠隔監視、子どもやお年寄りの見守りなど、多方面での活用が可能と考えている。今年度については、消雪装置の稼働状況を遠隔監視する実証実験等を行うこととしている。



LoRaWANを使って見回りをなくしてメールで罠を確認

問 今後5Gが通信規格の主流と考えるが、市で整備したLoRaWAN規格を、今後とも利用していくことは可能なのか。

答 5Gは、超高速で大量のデータを送受信できることから、自動車の自動運転や遠隔地医療などの実施が技術的に可能である。このことは、市民生活に劇的な変化をもたらすものと言われており、今後、5Gは、我が国の通信規格の主流の一つになると考えるが、特性が異なるLoRaWANと5Gとの共存は、可能であると考えている。

富山駅周辺整備について



現在の富山駅北口 撮影6月21日

滞りなく完工の日を迎えられるよう推進する。

問 仮線撤去工事が進んでいるが、今後どのように工事を進めていくのか。

答 今後、あいの風とやま鉄道高架下から富山駅北口駅前広場までの約120mにわたるレール敷設や石張舗装、門型架線柱設置などの土木工事のほか、軌道信号などの電気・通信設備工事を行う予定である。また、来年3月に予定している路面電車の南北接続完成前に行う習熟運転に要する期間などを考慮すると、非常にタイトな工事日程であり、しかも様々な工事が輻輳するため、工事の調整も大変複雑なものとなるが、

本市の歴史に新たな大きな1ページを刻むことになる南北接続事業が滞りなく完工の日を迎えられるよう、市と工事関係者全員が心をついて、業務の推進を図ってまいりたい。

北口駅前広場の完成は、令和3年度末の予定。

問 南北接続時には、駅北口広場はどのようなのか。

答 南口駅前広場と同様、バスやタクシー等の交通結節点としての機能のほか、人々が交流し賑わいを創出する場所として、現在の約6,100㎡から約10,100㎡へと拡張して整備を行うが、工事着手は来年度からとなる。

来年度は、既存の上屋などを解体し、南口駅前広場と一体感のあるバスシェルの設置工事を行い、令和3年度には、石張舗装工事などを行うこととしている。北口駅前広場全体の完成は、令和3年度末となる予定である。

なお、工事期間中においても、富山駅の南北間を移動するための歩行者動線は適切に確保する。



北口駅前広場完成(イメージ図)

園児等の移動経路における交通安全確保について

警察と合同で点検等を実施し、幼児等の安全を図る対策を警察と検討。



交差点を警察と合同点検

問 滋賀県の事故を受け、園児らが散歩などで移動する経路の安全確保に向け、点検に着手したとあるがその内容は。

答 国土交通省は、5月13日付けで全国の道路管理者等に対し、「園児等の移動経路における交通安全確保について」の通知を発出しました。通知の主な内容は、

- ① 警察が選定する過去5年間で子供が当事者となった交差点での重大事故の個所や、類似個所を警察と合同で点検等を実施すること。
- ② 保育園や幼稚園の幼児等の安全を図る対策の必要性等を、警察と協力して検討・実施すること。

なお、幼児等の安全を図る対策の必要性等の検討・実施については、今後、関係府省庁との調整結果を踏まえ、国が補足するとしている。

散歩コースの危険個所を示した地図を作成し、安全管理に取り組んでいる。

問 散歩中の園児の不測の事態に備えての取り組みは。

答 子どもたちが、安全に行動できる習慣を身に着けるため、月に一度交通安全指導を実施し、飛び出しの危険性について学習したり、実際に歩行することで危険個所を認識する等、事故防止に努めている。

また、全保育施設に配布している「危機管理対応要領」において、散歩時の注意事項を示し、保育者に喚起を行うとともに、各保育施設では、保育所外における異常や危険性の有無、交通量等を含めた点検を実施し、散歩コースの危険個所を示した地図を毎年作製し、安全管理に取り組んでいる。



園児と散歩

浸水対策について

全国でもこんな大規模な面積での緑のダム機能はないと思う。



婦中地域の水田貯留

一婦中町道場地内一

問 婦中地域水田貯留推進事業の導入の背景や事業概要は。

答 浸水被害が発生している坪野川において、県の河川改修には長期間を要することから、浸水被害を軽減する当面の対応策として、平成18年度に社会実験を始めたものである。平成24年には、水田貯留の普及促進を図る推進協議会が設立され、田島川・祖母川などの流域にも拡大された。平成30年度で170名の耕作者の協力のもと370haにおいて実施されている。

また、この取り組みは、耕作者自らが堰板の設置や畔の管理などを実施していただくなど、民間と行政との協働による浸水対策と考えている。

連絡調整会議を開催し、連携強化を図った。

問 29年10月の磯川周辺での浸水被害を受け、国・県市はどのような対策を行ってきたのか。

答 国・県では、井田川の河道を阻害している堆積土砂の掘削、排水ポンプ車設置個所の改良、磯川樋門の井田川・磯川側それぞれに危機管理型水位計の設置や磯川の井田川合流部付近の浚渫を行った。市では、国・県・市三者による調整連絡会議を開催し、国が持つ水位情報等を確実に有するための連絡体制の確立や水門の開閉に関する情報伝達体制の確立により、迅速な水防活動が行えるよう連携強化を図った。



29年10月台風21号によって
氾濫する磯川

市道の管理について

迅速に除草を行うなど適正な道路の管理に努める。

問 富山中部広域農道は、市と県の管理が混在しているが、除草の現状は。

答 県管理区間は年2回除草を行い、市管理区間は年1回の除草のほか、市職員による道路パトロールを行い、雑草によって見通しが悪くなっている箇所が発見された場合は、追加で除草を行っている。

問 富山中部広域農道の道の除草は、現状の管理では十分とは言えないが、対策はあるのか。

答 見通しが悪くなっている箇所が発見された場合には、迅速に除草を行うなど適正な道路の管理に努める。



富山中部広域農道の除草

トピックス

富山市スマート農業

ロボットトラクター等試験運転が行われました。

スマート農業の農業機械試験運転が、5月29日に富山市塩地区で行われました。

重い荷物を持ち上げる際の補助機能を備えたパワーアシストスーツ、上空から撮影して生育状況を分析するドローンや、急傾斜の農地など人力で作業が困難な場所において、遠隔操作で除草ができる自走式の草刈り機などが紹介されました。スマート農業の導入で作業効率化や労働時間削減などが期待されています。

6月補正においては、特産化を目指す薬用植物「エゴマ」の効率的な生産体制確立のため、株間除草ロボット開発を行う予算を可決しました。



力作業を補助するアシストスーツ



生育状況の診断を行うドローン



遠隔操作で除草ができる自走式草刈り機



遠隔からの簡易な指示で作業が行える無人自動運転トラクター